

【L-CRIP OS/DB対応表】

2025年5月30日時点

					L-CRIP									
					通信機能				照会システム					
					BASE	KSC/CIC/JICC 接続エンジン	G/W オプション	DB I/F オプション	BASE	KSC/CIC/JICC 照会	外部信用情報 判定オプション	外部信用情報判定 インターフェース オプション	外部信用情報判定 Web APIオプション	自動ランク判定 オプション
カテゴリ	製品名称	リリース	サービスパック	CPU	V9	V9	V9	V9	V9	V9	V9	V9	V9	V9
OS	Windows Server 2016(※3)	－	SPなし	64ビット	○	○	○	○(※1)	○(※2)	○(※2)	○(※2)	○(※2)		○(※2)
	Windows Server 2019	－	SPなし	64ビット	○	○	○	○(※1)	○(※2)	○(※2)	○(※2)	○(※2)	○(※2)	○(※2)
	Windows Server 2022	－	SPなし	64ビット	○	○	○	○(※1)	○(※2)	○(※2)	○(※2)	○(※2)	○(※2)	○(※2)
	Red Hat Enterprise Linux	8.2	－	－	○	○(※4)	○							
DB	SQL Server 2016	－	SP1	－				○(※1)	○(※2)	○(※2)	○(※2)	○(※2)		
		－	SP2	－				○(※1)	○(※2)	○(※2)	○(※2)	○(※2)		
	SQL Server 2019	－	CU4	－				○(※1)	○(※2)	○(※2)	○(※2)	○(※2)	○(※2)	○(※2)
	SQL Server 2022	－	CU10	－				○(※1)	○(※2)	○(※2)	○(※2)	○(※2)	○(※2)	○(※2)
	Oracle 12C	R2	－	－				○(※1)						
	Oracle 19C	－	－	－				○(※1)						
WEBブラウザ	Internet Explorer	11.0	－	－				○ (V9M13以前)	○	○	○	○		○
	Microsoft Edge(標準モード)	(※5)	－	－				○ (V9M14)						
	Microsoft Edge(IEモード)	(※6)	－	－					○	○	○	○		○

<凡例>
「○」: 対応、「」: 未対応

(※1) DB IFオプション OS/DB組合せ

					DB							
					SQL Server						Oracle	
					2016		2019		2022		12C	19c
					SP1	SP2	CU4	CU32	CU10	CU17	R2	－
OS	Windows Server 2016(※3)	－	SPなし	64ビット	○	○					○	
	Windows Server 2019	－	SPなし	64ビット			○	○				○
	Windows Server 2022	－	SPなし	64ビット					○	○		○

(※2) 照会システム OS/DB組合せ

					DB			
					SQL Server			
					2016		2019	2022
					SP1	SP2	CU4	CU10
OS	Windows Server 2016(※3)	－	SPなし	64ビット	○	○		
	Windows Server 2019	－	SPなし	64ビット			○	
	Windows Server 2022	－	SPなし	64ビット				○

(※3) Windows Server 2016対応版のDB/IFオプションおよび照会システムについては、一時的に出荷を停止しております。

(※4) CIC接続、JICC接続のみ対応。KSC接続は非対応。

(※5) 86.0.622.38以降のバージョンをご利用ください。

(※6) 96.0.1054.57以降のバージョンをご利用ください。

L-CRIPの保守サポート期限は、各OSのサポート終了日(Windows系OSは延長サポート終了日、UNIX系OSは標準サポート終了日)に準じます。

販売終了日、サポート期限については、以下のサイトをご参照ください。

<http://www.seiko-sol.co.jp/support/end-of-products/>

<ソフトウェア要件>

・.Net Framework

Windows Server 2016では、.Net Framework 3.5 SP1を使用します。
Windows Server 2019では、.Net Framework 4.7.2を使用します。(OS標準)
Windows Server 2022では、.Net Framework 4.8を使用します。(OS標準)

・JRE(Java SE Runtime Environment)

KSC接続エンジンを使用する場合は、JRE 8 Update 161(オラクル社製)を以下のサイトよりダウンロードしていただき、導入が必要となります。

<Windows Server 2016をご使用のお客様>

Java SE Development Kit 8u161(32bit版)

<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/java-archive-javase8-2177648.html>

<Windows Server 2019をご使用のお客様>

Java SE Development Kit OpenJDK 14.0.1

<https://jdk.java.net/archive/>

<Windows Server 2022をご使用のお客様>

Oracle OpenJDK 21.0.1

<https://jdk.java.net/archive/>

・WEBサーバ (IIS)

DB I/F オプションでは、OS付属のIISを使用します。使用するIISのバージョンは、以下の通りです。

Windows Server 2016 :10.0

Windows Server 2019 :10.0

Windows Server 2022 :10.0

・Oracle Client(32bit)

Oracleデータベースをご使用の場合、OS毎に下記のOracle Client(32bit版)の導入が必要になります。

Windows Server 2016 :Oracle Client 11g R2(11.2.0.4) 32bit

Windows Server 2019 :Oracle Client 19c(19.3.0.0) 32bit

Windows Server 2022 :Oracle Client 19c(19.3.0.0) 32bit